



**SBI
ART
AUCTION**

2024 Look Back

2025年1月17日

Table of Contents

目次

- **01. Introduction** はじめに
- **02. Summary** サマリー
- **03. 2024 Auction Achievements** 開催概要と実績
- **04. Participants' Trends** 参加者動向
- **05. The Year of KUSAMA: A Closer Look** クローズアップ：草間
- **06. Remarkable Events in 2024** 2024年の主なイベント
 - i. SBI ART AUCTION TOKYO 2024 プロモーションケータリングカーの展開
 - ii. 最旬アートと日本酒のタベ「Thursday Lates Powered by SAKEJUMP」の実施
 - iii. 自社初の海外展開として、韓国巡回下見会の実施
- **07. Auction Schedules for H1 of 2025** 2025年上半期スケジュール

01. Introduction

はじめに

2024年の世界経済は、インフレの沈静化や貿易の持ち直しを背景に緩やかな回復を見せました。しかし、各国の政策動向や地政学的リスクの高まりに伴うエネルギー価格の変動、金融市場の不安定性など、先行きの不透明感が増す年となりました。このような環境下、世界の現代アートマーケットは調整局面を迎え、特に高額作品の取引が減速し、コレクターの購買行動にも変化が表れました。

一方、日本の現代アートマーケットは独自の強さを示しました。所得から支出への前向きな循環が徐々に強まる日本経済、そして円安を背景とした海外からの購買増加により、市場は着実な成長を遂げました。日本固有の文化的基盤を評価する海外ギャラリーの進出が相次ぎ、国際的なアートフェアやイベントも定着。困難な国際環境下でありながら、柔軟性と活力を備えたマーケットとして、国内外から高い評価を得ました。このような状況において、当社は質の高い作品の紹介に注力すると同時に、より多くの方々にアートに親しんでいただくための機会創出に努めました。その結果、2024年も堅実な実績を収めることができました。

本レポートでは、2024年に当社が開催したオークションとその関連施策について総括いたします。この報告が、日本のアートマーケットへの理解を深め、さらなる関心を喚起する一助となれば幸いです。



02. Summary

サマリー



2012年－2024年の落札総額とロット数の推移

- 2024年の総落札額は60.1億円を記録し、当社の歴代実績において2位となる好成績を収めました。
- 年間を通じて開催した7回のオークションすべてにおいて90%以上という卓越した落札率を達成し、安定した成約力を実証しました。
- 当社オークション史上初めて、単一作品の落札価格が2億円を超える記録を樹立。特に草間彌生作品においては、質・量ともに充実した出品が相次ぎ、セールス全体を大きく牽引しました。
- 落札額ベースでの国内外比率がほぼ同等となり、海外コレクターの強い購買意欲が顕著に表れました。
- アートと異なるジャンルとのコラボレーションや、初の海外巡回下見会の実施など、革新的な施策に積極的に挑戦。新たな価値創造に向けた取り組みを展開しました。

03. 2024 Auction Achievements

開催概要と実績

開催日	ロット数	落札総額	落札率	一点当たりの平均落札額	落札予想価格下限からの伸び率
1月27日 -28日	498点	10.2億円	92.0%	204万円	138.9%
3月9日	81点	9.5億円	91.4%	1,179万円	157.3%
4月12日 -13日	421点	4.1億円	94.8%	97万円	187.7%
5月24日 -25日	295点	9.9億円	96.3%	337万円	159.0%
7月6日- 7日	290点	8.9億円	94.5%	307万円	153.9%
9月13日 -14日	492点	2.2億円	91.1%	46万円	152.6%
10月25 日-26日	308点	15.3億円	90.3%	497万円	127.8%
計7回	総計 2,385点	総額 60.1億円	平均落札率 92.9%	平均落札額 253万円	落札予想価格下限 からの平均伸び率 153.5%
前年からの増減率	6.1%減	15.6%増	0.1%減	23.0%増	15.8%減

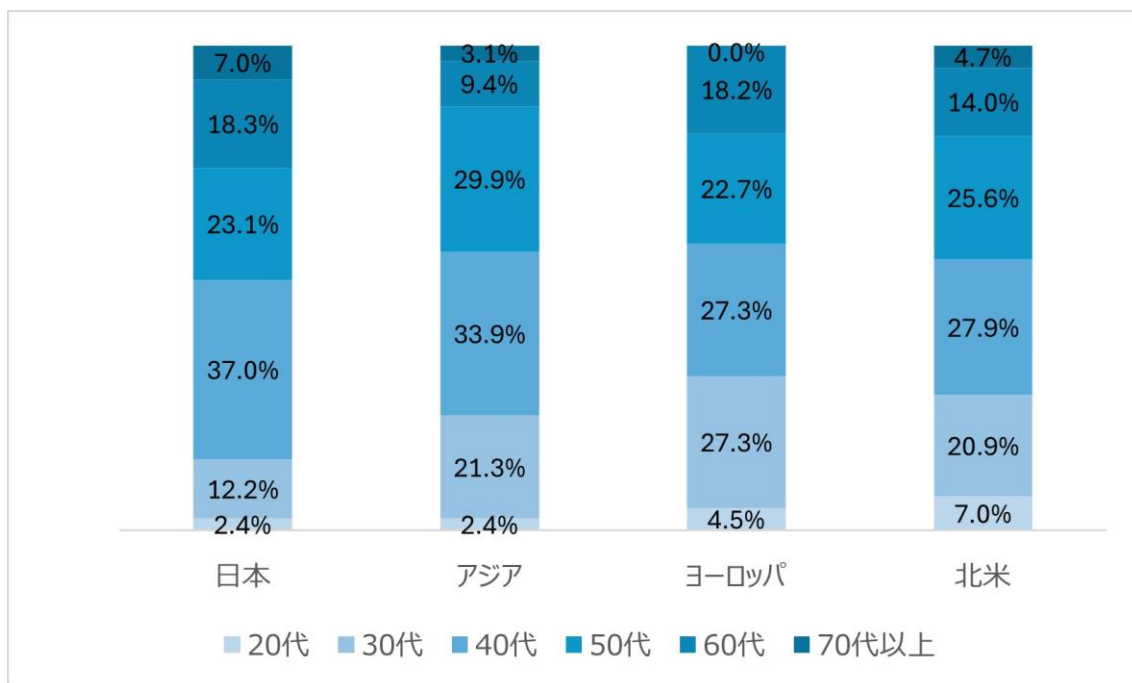
2024年、当社は7回のオークションを開催し、落札総額60.1億円を達成いたしました。質の高い作品の出品が相次ぎ、一点当たりの落札価格が前年を上回ったことから、歴代2位となる好成績を収めることができました。特筆すべきは、国内外のオークションハウスと比較しても極めて高水準な落札率を維持できた点です。これは、充実した顧客基盤と、当社が手がける作品への強い信頼を反映した結果といえます。

04. Participants' Trends

参加者動向

2024年に開催した7回のオークションでは、延べ参加者数が5,030人と前年から微増し、各セールで平均140名の新規登録がありました。落札者総数は850名に達し、その内訳は国内が74.1%、海外が25.9%となりました。一方、落札額ベースでは国内53.1%、海外46.9%（うちアジア地域が36.7%、主に韓国・香港・台湾）という比率となり、海外コレクターの強い購買力が顕著に表れる結果となりました。

2024年落札者の主な地域別年代比率



年齢層の分析からは、40代以下の落札が全体の53.3%を占め、若年層の活発な参加が継続していることが明らかになりました。地域別の年齢分布では、40代が各地域で最大のボリュームゾーンとなっているものの、その様相には地域差が見られます。日本とアジアでは40代の割合が特に高い一方、ヨーロッパでは30代の購買が40代と拮抗しており、より若い世代の参加が際立っています。

05. The Year of KUSAMA: A Closer Look

クローズアップ：草間彌生



USD	1,412,986
HKD	10,980,592
TWD	45,263,157
EUR	1,305,641
GBP	1,089,435
RMB	10,070,257
KRW	1,950,998,185

LOT 219 JPY 215,000,000



196

2024年に当社オークションで取引された草間彌生作品は127点で落札率は98.4%を記録、エスティメート下限からの平均伸び率は170.9%となり、当社にとって2024年は草間作品の取扱いが特に豊富な年となりました。本章では、今年当社が取り扱った草間作品のハイライトや国内外オークション結果との比較の中で、詳細を深掘りいたします。

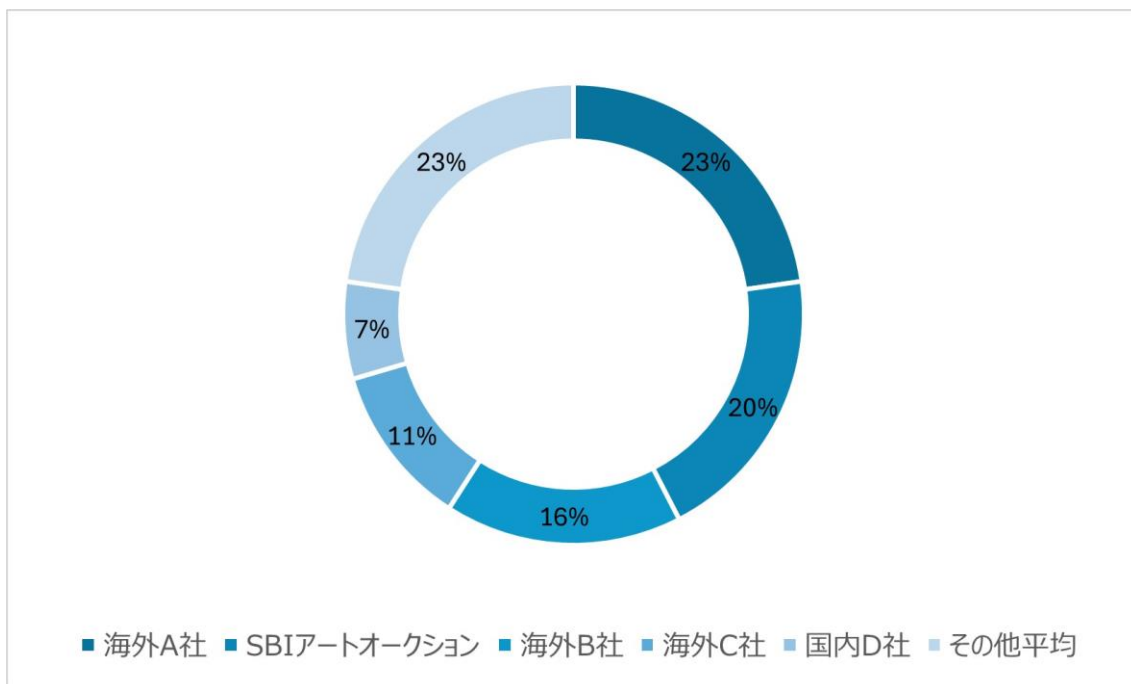
2024年草間高額落札TOP5

セール日	ロット番号	タイトル	制作年	メディウム	落札価格
10月26日	219	かぼちゃ	1989	アクリル、キャンヴァス	2億4,725万円
3月9日	069	南瓜	2006	アクリル、キャンヴァス	2億4,150万円
4月13日	330	Pumpkins	1982	ミクストメディア (アクリル、布、紙、粘土、木)	1億8,975万円
3月9日	070	かぼちゃ	1997	アクリル、キャンヴァス	1億4,950万円
10月26日	220	インフィニティ NET	1999	アクリル、キャンヴァス	1億4,375万円

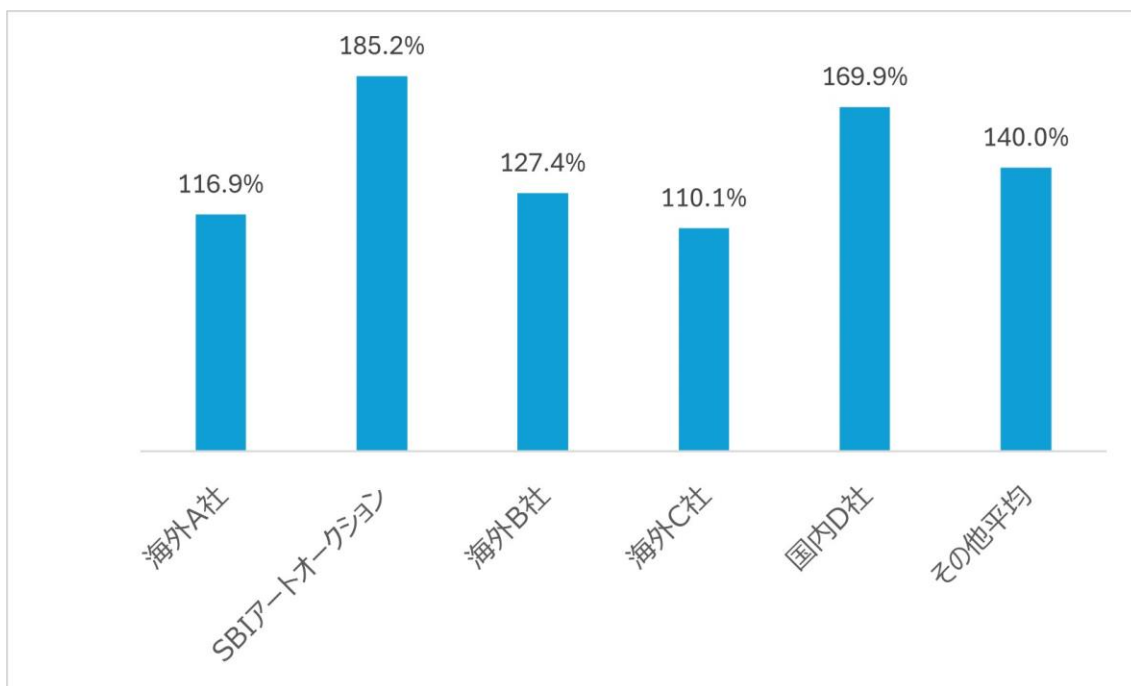
今年のオークションで落札された草間作品の高額落札TOP5

当社は、2024年3月に「かぼちゃ」（2006年）によって自社初の2億円超の落札価格を記録しました。2024年を通じて、2点の2億円を超える草間作品の取扱いに恵まれ、画期的な1年となりました。また、上位5点のうち1点は立体作品が、また「かぼちゃ」と並ぶ代表的シリーズである「無限の網（Infinity Nets）」シリーズが1点ランクインしています。

2024年に国内外オークションで1,000万円以上で落札された草間作品（*）のオークションハウス別落札点数比率の比較（**）



2024年に国内外オークションで1,000万円以上で落札された草間作品（*）のオークションハウス別下限からの伸び率の比較（**）



アート取引の国際的なデータベースartprice.comによると、2024年1月1日から12月31日の間に1,000万円以上で落札された草間作品（*）は132点あり、うち当社は、国際展開するオークションハウスA社に次ぐ第2位の取扱い数を誇っています。エスティメート下限からの伸び率は上位5社のうちトップとなる185.2%を記録しており、複数の参加者による活況な競りが展開された様子が窺えます。

（*）落札手数料がセールを実施した国やオークションハウスによって異なるため、落札手数料を含む落札価格ではなくハンマープライスを基準とした抽出。ただし不落札作品を除く。

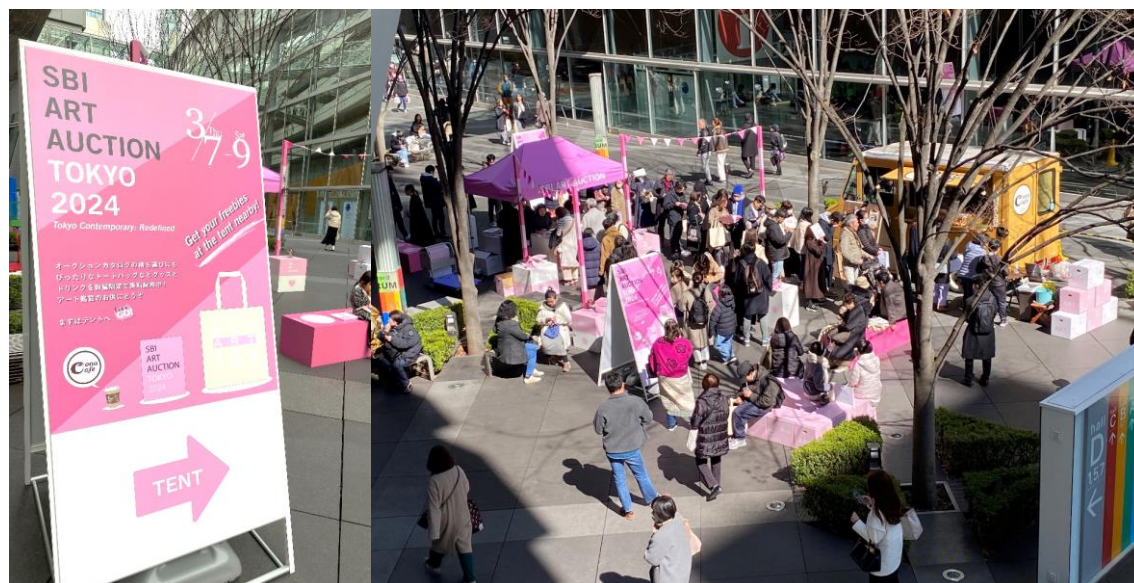
（**）本ページのグラフはいずれもartprice.com (<https://www.artprice.com/>) のデータを参照し当社が作成。

06. Remarkable Events in 2024

2024年の主なイベント

本年、当社は通常のオークション運営に加えて、より多くのお客様に現代アートやアートオークションをお楽しみいただくべく、複数のイベントを実施いたしました。その中から主だったものを以下にご紹介いたします。

i. SBI ART AUCTION TOKYO 2024 プロモーションケータリングカーの展開



3月7日（木）から9日（土）にかけて、企画セール開催と併せて東京国際フォーラムの地上広場では、オークションカタログを含むオリジナルグッズやドリンクを無料配布するキャンペーンを実施し、アートマーケットの裾野を広げる活動に取り組みました。「屋外フェスやキャンプの憩いの場」をイメージした、オークションのテーマカラーである桜色の設えが目を惹き、当社オークションとアートフェア東京に跨るアート鑑賞の合間のコーヒーブレイクに多くの方がお見えになり、実施期間中の来訪者数（*）は1,789名を数えました。
（*）テントに立ち寄りグッズを受け取った方。

ii. 最旬アートと日本酒のタベ

「Thursday Lates Powered by SAKEJUMP」の実施



若手醸造家が集まる国内最大級の日本酒イベント『若手の夜明け（SAKEJUMP）』のご協賛のもと、「アート×日本酒」をテーマとしたオープンイベント「Thursday Lates Powered by SAKEJUMP」を、下見会期間中の7月4日（木）にヒルサイドフォーラムにて開催いたしました。



7月セールに出品された作品のうち、ハイライト・アーティストの出身地に因み、東北から九州まで、日本全国津々浦々の新進気鋭の酒蔵による日本酒12種類を提供。当日は2時間余りのイベントに332名の方がご参加くださり、お酒とアートの邂逅から来場者間の新しい繋がりも生まれる機会となりました。

iii. 自社初の海外展開として、韓国巡回下見会の実施



Photo: ART CHOSUN



10月オークションに先立ち、自社初の海外展開として、出品作品の一部を、メガギャラリーの進出や国際的なアートフェアFriezeの開催などによりアートマーケットの発展目覚ましい韓国・ソウルで展覧する機会に恵まれました。現地大手メディア・朝鮮日報グループのアートスペースであるART CHOSUNとのコラボレーションにより、メディアの強みを活かしたタブロイドやCM等を展開、日本のアートシーンの「いま」をひろく韓国のアートコレクターの皆様にご紹介しました。本下見会をきっかけに日本のアートやマーケットに関心を持たれ、東京のセール会場に足をお運びくださる訪日コレクターも見受けられ、文化交流の一助ともなりました。



Photo: ART CHOSUN



ART CHOSUN（アート朝鮮）とは韓国の大手メディアの一つであり、主要新聞の一つ「朝鮮日報」やテレビ放送会社「朝鮮放送（TV Chosun）」を筆頭とした朝鮮日報グループに属する美術関連企業として2019年に設立。自社スペースにおける展覧会の企画運営のほか、美術関連ニュースの配信、アートトーク、イベント紹介などを行っています。

07. Auction Schedules for H1 of 2025

2025年 上半期スケジュール



- 01.25-26 MODERN AND CONTEMPORARY ART ヒルサイドフォーラム (代官山)
 - 参加しやすい下見会・オークションの土日同時開催
- 03.08 SBI ART AUCTION TOKYO 2025 | Bloom Now 東京国際フォーラム (有楽町)
 - アートフェア東京との同時期開催、グローバルマーケットで注目度の高い国内外アーティストの優品が揃い踏み
 - 地上広場のブースにも引き続き注目
- 04.11-12 LIVE STREAM AUCTION (オンライン配信)
 - 出品申込受付中、下記QRコードから査定のお申込みをいただけます
- 05.23-24 MODERN AND CONTEMPORARY ART ヒルサイドフォーラム (代官山)
 - 出品申込受付中、下記QRコードから査定のお申込みをいただけます





問合せ先

SBIアートオークション株式会社

広報担当 岡村・鈴木

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館

Tel. 03-3527-6692

Fax. 03-3529-0777

Mail. ArtAuction@sbigroup.co.jp

Web. www.sbiartauction.co.jp